

2014 早稲田・文「近・現代ジャーナリズム論2」 第一回

ガイダンス

○シラバスの内容について

・副題

現代社会を描く方法：「売り物になる文」とはなにか？

・授業概要

本講義では、広い意味でジャーナリズムを見る上で、「売り物になる文」とはなにか俯瞰しつつ現代社会を描く方法を探求する。その前提として、社会科学的な方法論と理論を身につけつつ、家族や住まいのようなミクロなレベルからグローバル化・情報化のようなマクロなレベルまでの諸テーマに関する見識を深められるようにする。

はじめに『「フクシマ」論』を題材としながら今日の基礎的なトピックとジャーナリズム・社会科学の基礎的な方法論を確認した後、『漂白される社会』を参考文献として現代社会が抱える様々なテーマに触れていく。さらに、『実話ナックルズ』や『AERA』の「現代の肖像」、「読売新聞」の書評といった極めて商業的な媒体に掲載される様々なテーマ・形式の文を読みながら、その文章が生産される背景を解説するとともに、仮に、それを書きたい場合に著者に何が求められるのか検討する。

授業のはじめに前回講義に対するリアクションを紹介する。レポートを複数回課す。

・授業の到達目標

必ずしも「売り物になる」文の書き手それぞれがそのための方法論を常に自覚しているわけではない。あるいは、仮に自覚していたとして、それを書き手自身が解説しても、必ずしも皆が真似できるものではないのかもしれない。「文章力・表現力アップ」を掲げる本はいくらでもあるが、そこに書かれた方法論を理解したからといって実際に「売り物になる」文を書くための力を身につけられるかという別な話であるのと同じように。

「売り物になる」文を書く力を身につけるためには、OJTが必要であり、それは常に研ぎ澄まされ続ける必要がある。この授業ではその部分までは担いきれないが、前提となる知識や方法論を身につけられるようにする。

・教科書

『「フクシマ」論』（青土社）、『地方の論理』（同）

『漂白される社会』（ダイヤモンド社）

参考文献 随時、オンラインで読める文章を中心に必読の参考文献として提示します。

・成績評価方法

レポート:40% 複数回のレポートを課します。内容は、単に評価するものではなく、実際にルポ・書評等を書いてもらう予定です。

平常点評価（ミニレポート）:60% 毎回、授業へのリアクションを書いてもらい平常点とします。

○注意事項

・(まじめに参加すれば) 負担は極めて大きい
毎回、リーディングアサインメント&ミニレポート

・不真面目であっても読むこと前提
来ないのは有り。レポート出せば。
ただし、コピペ無し。人力・IT使って対応。
あと、講義来ても音・におい無し。だったら来ない。

○講義情報

・「開沼博 オフィシャルサイト」の「講義」に掲載。

<http://kainumahirosi.net/%e9%96%8b%e6%b2%bc%e5%8d%9a%ef%bd%9c%e8%ac%9b%e7%be%a9/>

・最新のシラバス、文献(リーディングアサインメント)、ミニレポート提出フォームを掲載します。
・ミニレポート提出フォームは授業日の深夜までに掲載します。そこから提出して下さい。
・コピペはだめですが、出席点扱い=内容自体で大きな評価の差はつけません。要件にあわせて(内容・字数)提出あれば問題ありません。

○ミニレポートの内容

・要約の書き方

- 1) 「一言で言うと、どんな話？」
- 2) そこに要素をモレ・ダブリなくつけていく
- 3) 書き通してみたらてにをは調整

・コメントの仕方

「批判的読解」

(批判≠否定、誹謗中傷、見下し)

「こういう別な見方、新しい見方がある」と示す。

=>吉見俊哉 web

<http://www.yoshimi-lab.jp/seminar/seminar-a.html>

・具体的には、要約、コメント

=>上野千鶴子 web

http://wan.or.jp/ueno/?page_id=428

○企画受付

・OJT部分の補完として、成績とは関係ありませんが、ルポ、評論、論文などで雑誌記事・書籍にしたい企画があれば提出してください。場合によっては講評などします。商業出版にのせる可能性ありそのような場合は出版社などに提案も可能。

=>企画のたて方

上述、上野千鶴子 web

○大きなテーマ

現代社会を描く方法：「売り物になる文」とはなにか？

※ここでは、小説や詩、広告のコピーなどここでは扱わない。学術書やノンフィクション・ルポ、書評などに絞ることとする。

○必要な技術

読む技術：情報をとる、全体像を把握する

切る技術：解釈する、理論化する

書く技術：まとめる

「売り物になる」文を書く上で可能な限り実践的な方法論を身につけるために、1)「売り物になる」文を書く上で役にたちうる前提知識を俯瞰した上で、2)「実際に売り物になっている文」を観察する作業を進める。

○今後の進め方

- ・以下、暫定バージョンです。関心、レポートの進捗見ながら大幅に変更の可能性があります。
- ・何度か、書籍・雑誌の編集者、筆者、写真家などに来てもらって現場の話をしてもらおうと思っています。

0930 第1回 導入:評論「吉田調書」「福島県知事選」

[終了]

1007 第2回 『漂白される社会』について(1): 売春島、ホームレスギャル

1014 第3回 『漂白される社会』について(2): 激安シェアハウス、生活保護、危険ドラッグ

1021 第4回 『漂白される社会』について(3)

1028 第5回 『「フクシマ」論』について(1)

1104 第6回 『「フクシマ」論』について(2)

1111 第7回 『「フクシマ」論』について(3)

1118 第8回 (以下、未定)

1125 第9回

1202 第10回

1209 休講

1216 第11回

0113 第12回

0120 第13回

0127 第14回

0203 第15回 まとめ